

ご担当医様

受診者はJICAボランティアとして開発途上国へ派遣予定です。受診者がボランティアとして開発途上国へ派遣可能か、この診断書を参考に判断いたします。定期的な診察治療およびリハビリは概ね終了していることが派遣の条件となります。開発途上国では、一般的に検査設備や医薬品等が不足しており、適切な診療を受けることは困難です。受診者が派遣されるにあたり、これまでの経過や派遣中に必要な医療的管理の条件/注意点などご記入いただくよう、よろしくお願いいたします。

診断書（整形外科疾患）

患者名： 生年月日： 年 月 日

診断名：

1. これまでの治療経過など（初診の場合は診療、検査内容について）を必ずご記入ください

2. 症状経過から、受診者の状態を下記から選択し、お答えください。

- ☐ 治療およびリハビリは終了しており任務は可能で、2年間の間に症状が再燃する可能性は低い。
- ☐ 治療およびリハビリはほぼ終了し任務は可能であるが、任地で定期的な診察・検査・治療が望ましい。[→3に進む](#)
- ☐ 現在症状は安定しているが、2年間の間に症状が再燃する可能性が高い。
- ☐ 治療またはリハビリは終了しておらず、本邦で（ヶ月に回）程度の定期的加療が望ましい。
- ☐ その他（ ）

3. 任務は可能であるが、任地で定期的な診察・検査・治療が望ましい場合、その内容をご記入ください。

※任地によっては医療機関へのアクセスが年2回程度となる場合があります。

項目	詳細
診察	間隔：（ ）回／ 週 月 年ごと 内容：（ ）
検査	間隔：（ ）回／ 週 月 年ごと 内容：（ ）
治療	内容（内服薬名/外用薬名など）
その他配慮事項	

以上、証明します。

記載日： 年 月 日 医師名：
医療機関名：
所在地：
電話番号：